

北海道における地域シンポジウム アンケート結果

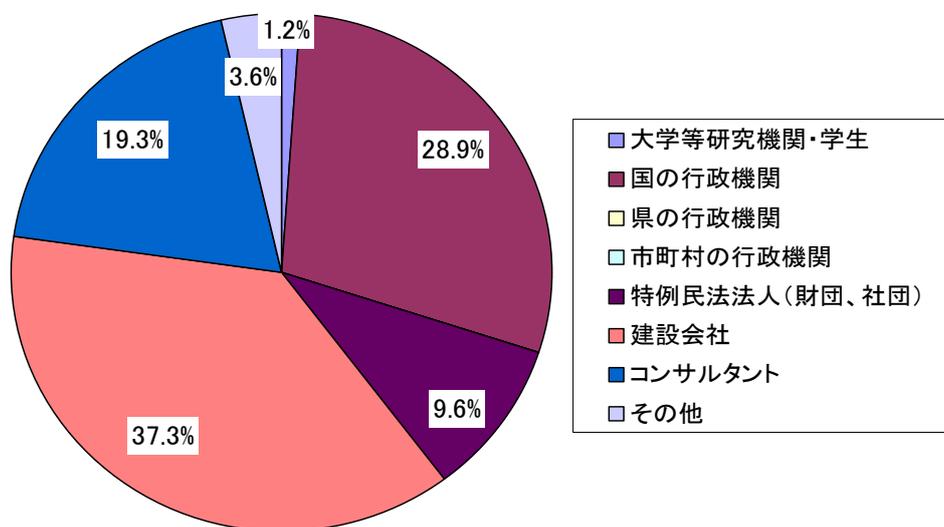
○ 有効回答

本アンケートの回答者数は、83名でした。

1. 参加者の立場

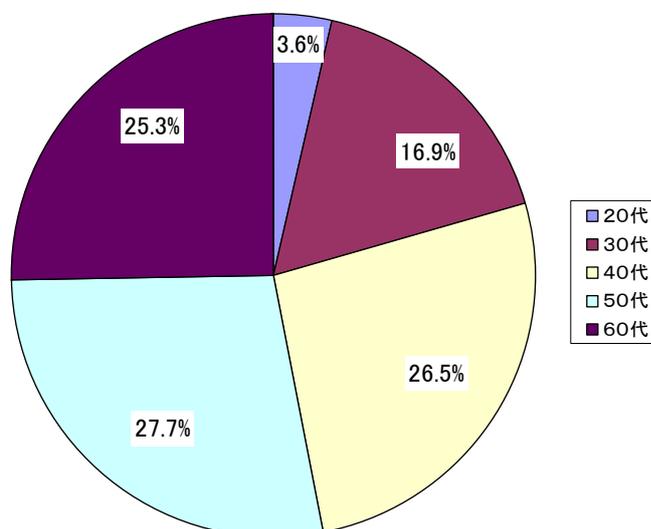
1) 職業等

建設会社が37.3%と1番多く、続いて国の行政機関(28.9%)、コンサルタント(19.3%)、特例民法法人(9.6%)であった。



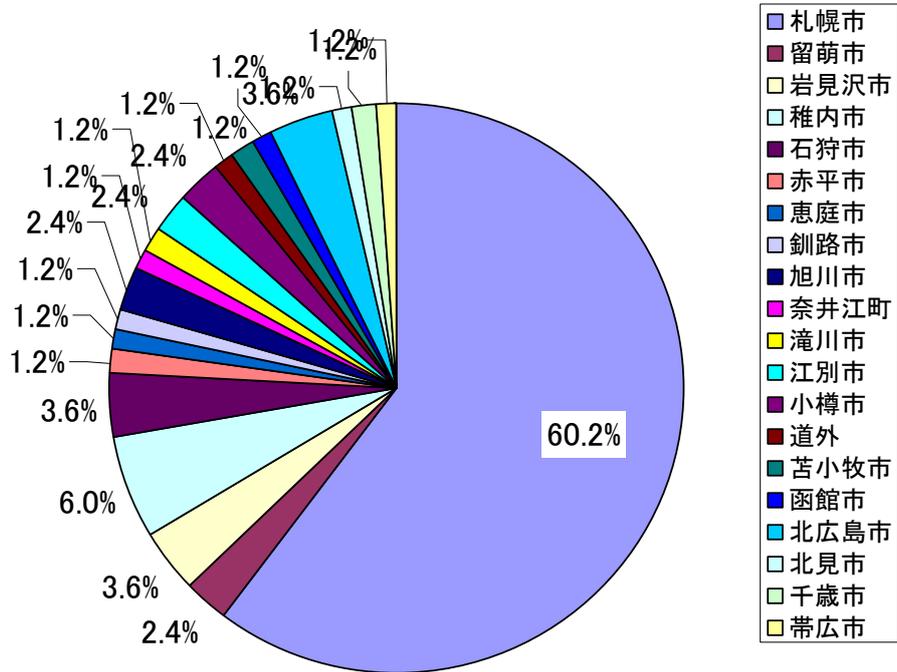
2) 年齢

40～50代で全体の54.2%を占め、続いて60代(25.3%)、30代(16.9%)であった。



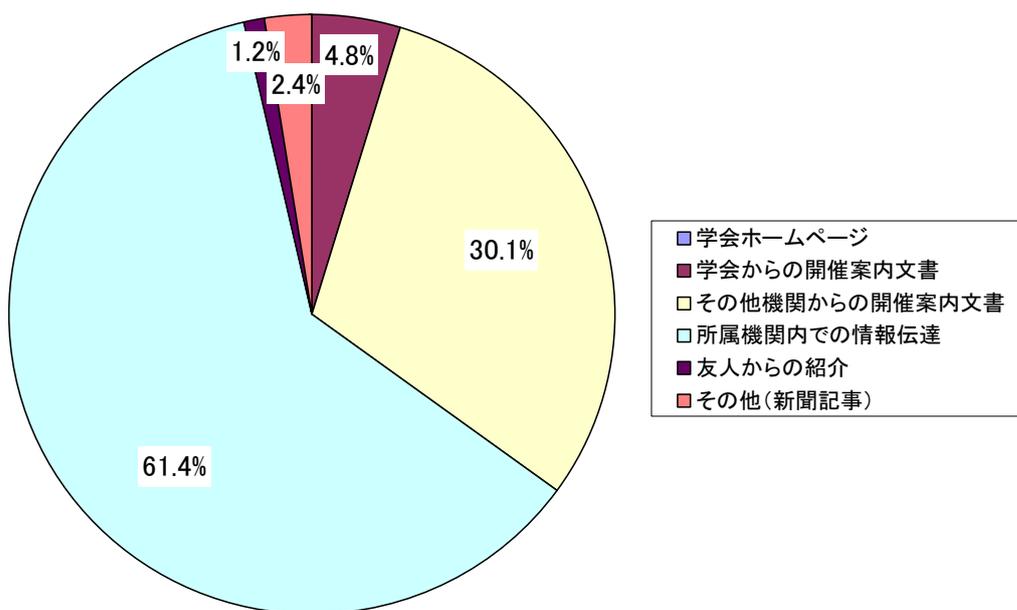
3) 住所：お住まいの市町村名をお書き下さい

札幌市が60.2%と多く、他は、全道各地よりの参加であった。



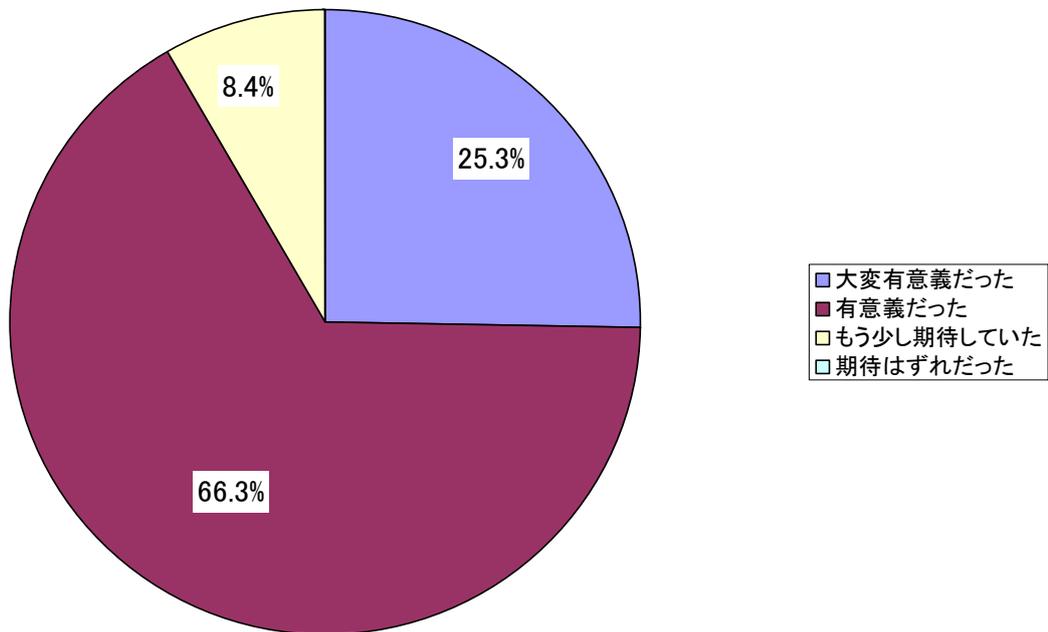
2. シンポジウムの開催を何によって知りましたか。

所属機関内での情報伝達、その他の機関からの開催案内文書が91.5%を占めた。



3-1 今回のシンポジウムの感想

「大変有意義だった」、「有意義だった」で全体の91.6%を占めた。



その理由（羅列）

- ・ 建設業の今後について、取り組み事例・方向性など現実的で参考になった。
- ・ 建設業の定義が広がった。（新分野進出へのヒントをもらった）
- ・ 新しい価値観の見出し方について勉強になった。
- ・ 新規事業に関する建設業経営者の特性をよく理解出来た。
- ・ 建設業の展開は、全く自由に発想して良いのだと感じた。
- ・ パネルディスカッションで、今までの視点と違い、時代の流れについていくヒントをいただいた。
- ・ 建設業の比重が大きい北海道経済において、北海道の方向性に繋がると思う
- ・ 異業種の結びつきで、地域の特色を生かして、手探り状態でありながらとにかく前に進んでみることの大切さが感じられた。
- ・ いろいろな立場からの意見は、興味深いものがあった。
- ・ あまりに食の分野に偏っていたと思う。
- ・ アイデアを現実化する努力が見られた。

3-2 今回のシンポジウムで議論された内容、進め方等について

議論された内容

- ・ 産、学、官それぞれのパネリストによるディスカッションはわかりやすかった
- ・ 異業種への転換ではなく、建設業の新しい役割を創る姿勢で良かった。
- ・ もう少し事例報告を増やしてほしい。
- ・ 議論の論点を明確にしていたので解りやすかった。
- ・ 金谷氏の感動消費＝ブランドにいたる背景に感動しました。
- ・ 建設産業の市民化のテーマで建設のイメージが広がっているのを感じた。
- ・ 建設業の今後の見通しが見えない中で一助となった。
- ・ 建設産業を超えた、または広がった議論が魅力的であった。新しい視点（地域）の必要性を感じた
- ・ 今回のような事例報告を他の地域で行っている事例も聞いてみたい。
- ・ 建設企業が厳しい中、もっと危機管理を共有することが必要であると感じます。
- ・ 一般の方に、建設業を理解してもらうのは厳しいようですが、建設業の再定義をもらい、成功するまでチャレンジ！
- ・ 市民化の考え方、定義を深めてほしかった。
- ・ 建設事業を増やそうというスタンスでなかったのが良かった。
- ・ 今までの狭義の建設業から「広義の建設業の考えが広まればまた変わるのではないか」と感じた。

進め方

- ・ 会場とのコミュニケーションがあった方が良いと思います。
- ・ パネリストの方々の一人一人の時間が長すぎたように感じました。1回当たりを短めにしたら良いかと思います。
- ・ 一般へPRができるような進め方ができればよいと思う。（一般を対象に）
- ・ 一般市民をいかに参加してもらうかが課題と思います。
- ・ TV番組みたいにコーディネーターがパネラーに話を振り、間を置かず進めていたのが良かった。
- ・ 事例報告の方にも発言をしてもらった方が良かったのでは！
- ・ 今回のシンポジウム内容を広く業界に周知すべき。

4. 今後、同様のシンポジウム等を北海道で開催するとした場合、どのようなテーマ（内容）が望ましいと思いますか。（羅列）

- ・ 人材不足、高齢化を向かえ、技術の継承等
- ・ 冬の暮らし、冬期の交通対策――〈複数〉
- ・ 本日のテーマの第二弾（フォロー含め）――〈複数〉
- ・ 次世代に残すべき土木、インフラ技術とそのマネジメントのあり方
- ・ 環境を改善、高度化する建設マネジメントのあり方
- ・ 成熟社会におけるインフラとそれを支える建設マネジメント
- ・ エネルギー産業
- ・ 天候（気象）に関するテーマ
- ・ 若手技術者をパネリストとして、土木の思い、夢を語らせる企画は！
- ・ 建設業の新たな産業への進出などに関する成功事例のシンポジウムを！
- ・ 「観光と建設」をテーマにしては！
- ・ 建設業の就労者がスムーズに転職できるような産業転換をテーマにしてほしい。
- ・ 地域の事例に対し、国や自治体がどのような形でかかわっているかをテーマにしては！
- ・ 食材、エネルギーと建設業
- ・ コンサルタントの立場から見た展望や事例について
- ・ 防災と北海道の自然環境の変遷
- ・ コンクリートから人命へ